

秋の宣伝行動 各平和の会で取り組む

「東海第二原発の廃炉を求める署名」

署名用紙3000枚を新聞に折り込む (石岡平和の会)

11月には、30万筆の署名を県知事にぶっつけようと、各地で各団体が精力的に取り組んでいます。各地の平和の会・平和委員会は中心になって頑張っています。

石岡平和の会（小美玉市）では、署名用紙3000枚を商業新聞に折り込みました。署名用紙は「県平和委員会を取り扱い団体」とし、最下段に「連絡を頂ければ受け取りに伺います」の言葉と、責任者の「姓」と「携帯電話番号」を記載しました。それぞれに封筒を用意し、切手を貼付して送付しました。

一週間後くらいから、県平和委員会事務局に、記入された署名

用紙が封筒で郵送され、現在10数通になっています。

石岡平和の会では、協力していただいた方々と連絡を取りあっていこうと考えています。



【県平和委員会宛に返送された署名用紙】

オスプレイ 全12機 沖縄配備強行に怒り!

オスプレイが、週末の催しでにぎわう那覇市上空を飛んだ。大きな羽音が、会場に流れる音楽を遮った。日米合意違反の飛行が常態化する現状に、県民は「わが物顔で許せない」「安全なら、東京の官庁街や皇居の上でも飛ばせるはずなのに」と憤った。市おもろまちの新都心公園では、「那覇フェスタ」のフリーマーケットが開催中だった。「オスプレイが来た」。公園の真上に同機が現れると、訪れた家族連れらが驚いて空を指さしたり、携帯電話のカメラを向けたりした。出店のため母親と参加した豊見城市の中学3年、仲間祐太君（15）は「ブーンという音で気付いた。1機のプロペラは上向きだった」と振り返り、「いつ落ちてくるか分からない。怖い感じ」と話した。

浦添市の主婦石川清子さん（54）は「前田の自宅では普天間飛行場を離着陸する米軍機の騒音に悩まされているけど、まさか那覇でも飛ぶなんて」と驚き、「政府が言う安全策なんて絶対うそ。『ミスプレイ』と呼びたい」と怒りを新たにされた。「那覇大綱曳（ひき）まつり」の関連イベントでごった返す国際通りや奥武山公園からも、3機が見えた。

那覇市の沖縄国際大1年、比嘉星乃さん（18）は「街の上は飛ばない約束なのに。県民の意思を無視した上に、約束も破るなんて許せない」と憤った。同市の主婦仲里菊乃さん（39）は、一緒にいた小学生の息子が飛来に気付いた。「配備を許してしまうと、制限が利かなくなるかも」。家族5人で訪れた沖縄市の津嘉山覚さん（40）は「子どもたちが大きくなっても、オスプレイや基地があり続けられないか心配」と話し、幼な子の頭をなでた。

【那覇大綱曳まつりのパレードでにぎわう那覇の市街地上空をヘリモードで飛行するオスプレイ（6日午後2時45分ごろ、那覇市久茂地）】



10月7日(日) 沖縄
9:00~11:00

団地で署名活動 (内原・友部平和の会)

内原・友部平和の会では、10月7日(日)の午前中、笠間市内の団地で署名活動を行いました。参加者9名が2人1組で各戸訪問し、2時間弱で66筆の署名が集まりました。

「ここはぎりぎり30分はなれているが、そんな距離なんて関係ないよね」「原発はもういらんと思う」などと話しながら署名してくれる人が多いなか、「福島原発の事故であぶないのは感じたが、原発を今すぐにゼロにするのは早計に過ぎる」という人もいて、玄関先で意見を交わし合いながらの署名活動になりました。行動後みんなで、とうふ尽くしの定食で腹を満たしました。

第3回 常任理事会開催のお知らせ

第3回理事会を下記の日程で開催します。
ご出席のほど、よろしくお願いします。

記

1. とき 2012年 10月21日 (日)
午後1時30分 ~ 5時
2. ところ 平和会館内・事務局
水戸市見川5-127-281
電話 029-251-2806
3. 議題 (とりくみの交流と具体化)
◆交流 ①平和宣伝活動のとりくみの交流
②「東海第二原発廃炉」署名
◆取組み①「沖縄平和学習会」の呼び掛け
②平和広告とりくみの具体化
③平和ワイン普及のとりくみ
④組織強化と仲間づくり
⑤年末から年明けのとりくみ確認

平和新聞

2012年10月15日 (月曜日)

1999号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 637

2012.10/15

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

51人の参加で応援ツアー

福島への被ばく被災地を歩く 「さよなら原発土浦地域連絡会」

9月26-27日



なんて想像してしまう。そんな、お店がならんでいるのだ。青いビニールシートがかかけられている家があったが、帰ってきて住める見込みはないだろう。
海岸沿いの土手に2本の松ががんばって立っていた。前ま、一帯松林だったが二本だけ残ったという。これが南相馬の今現在の状況だ。

飯館村に入ると、バスの中でいきなり14マイクロシーベルト/時と高い値を示し、それを超え南相馬市に入ると、0.1のレベルになった。しかし、そこは猫一匹、犬一匹現れないゴーストタウン。風だけが地震で崩れたがれきの上をふいていく。

市街地では1年半前までにぎやかに住んで、商売していた町を見捨てたのか。誰も何もしようとしていない。道路だけは瓦礫が隅に片づけられて、小さな山をどこどこに作っているが。元家具屋の店の中は家具が折り重なって倒れている。中に人がいたらな



「土浦平和の会ニュース No.247」より

東海村議会に「東海第二原発再稼働反対・廃炉に」の声を示そう

東海村議会は、「東海第二原発廃炉」の請願を9月議会でも「継続審議」にしました。そして村議会では、村民や村外からも「廃炉の請願に対する意見」を聴取することになりました。意見は以下の方法で集約します。

- (1) メールで送信する
東海村議会のホームページを開き、意見入力フォームに記入して送信する。
- (2) フォクスで送信する
専用用紙を使う。東海村の役場やコミセンで配布している。
- (3) 「自前の用紙」や「ハガキ」を使う。その際は以下の内容を漏らさず記載する。

- ① 「氏名」 ② 「フリガナ (カタカナで)」 ③ 「性別」
 - ④ 「職業」 ⑤ 「業種」
 - ⑥ 「東海村在住／東海村勤務／その他」 ⑦ 「意見やその理由 (400字以内)」
- ◎締め切りは10月中です。できるだけ多く「廃炉」の声を集中しましょう

福島返せ、くらしを返せ！

水戸市の県開発公社ビル前で、10回目の金曜行動

「東海第二原発を廃炉に！」をスローガンに、7月から毎週金曜ごとに行われてきた「原電いばらき抗議アクション」は、10月5日で第10回となりました。

毎週金曜日18時半～19時に原電茨城総合事務所前（水戸市笠原町・茨城県開発公社ビル）。無料駐車場あります。



【「東海第二、古くて危ない！」 「再稼働やめろ」の唱和】

「シリーズ」 功徳 功徳員

東海村／川崎 勝男さん (東海村平和委員会)

平和が東海村を



私が幼い頃の東海村（村松村）は原発がなく良かった。海側南北に6Kmもに渡って形の良い松の大木が林立していた。このきれいな松林は子どもたちの遊び場、草とり、山芋掘り、グミとり・・・、親たちは肥料にと松葉さらい、薪とりなど生活に密着していた。いまこの松林は原子力施設に占拠されている。

福島第一原発事故は今後どんな危険を及ぼすか目が離せない。福島第二原発でも東海第二原発と同じく原子炉冷却に3日近くもかかった炉があり、過酷事故にあと一歩という状況があった。今は原発が、昔は戦争が国策ですすめられ、虚偽の国策よって国民は多大な犠牲を被った。原発もまたその道をいくのかと思いきや、今多くの国民はそれを許さない力を出し始めた。老子は世界ではじめて戦争反対の思想を説いた。文豪トルストイは老子に感銘して「戦争と平和」というドラマを書いた。そして現代の世界は戦争を禁止している。2300年前の思想が実現した。原発についてもゼロを表現し、平和な東海村をつくりたい。

沖縄問題秋の学習会

「オスプレイ配備拒否・普天間基地撤去」

とき：11月4日(日)

午後1時半～4時(開場 午後1時)

ところ：グリーンビルス石岡 1階集会室

参加自由 資料代500円

☆☆ 出来るだけおおくの方に声をかけ、お誘い合わせの上参加下さい。 ☆☆